既存物件データおよびテンプレートの修正方法

既存物件データおよびテンプレートの木材樹種別強度・コンクリート強度のマスターを置き換える場合は、 以下の方法で行ってください。

STRDESIGN を起動し、既存物件または既存テンプレートを開きます。 新規作成でテンプレートファイルを開いた場合は一度、適当な名前を付けて保存してください。

「ファイル」メニューから「追加インポート」を選択します。

「ファイルを開く」画面で、以下の場所にあるファイルを選択し、「開く」をクリックします。 C:¥Program Files¥STRBASE V13¥Modeler¥Template¥在来工法(M910)テンプレート V13.csv

ファイルを聞く				? 🗙	
ファイルの場所①:	🗀 Template	-	🗕 🖻 🖶	•	
 □ layer □ parts □ TempFormat ③ 金物工法(HQ金 ③ 金物工法(HS金 ③ 金物工法(Oレテ 	:物)テンプレートV13.csv :物)テンプレートV13.csv ック金物)テンプレートV13.csv	▲金物工法() ▲在来工法()	プレセッター)テ M910)テンプ	ンプレートV13.csv レートV13.csv	
<	1111			>	
ファイル名(N):	在来工法(M910)テンプレ	−トV13.csv	\square	開((_)	
ファイルの種類(工):	CSV ファイル (*.csv;*.txt)		•	キャンセル	

「インポート情報の選択」画面で「(インポート情報を使用しない)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

	×.
追加インボートを開始します。 這加インボートに使用する設定情報を一覧から選択して下さい。 独自の設定を行う場合には、「インボード情報を使用しないりを選択して下さい。	
12水	
金物 <u>1法プータ(2)ポート</u> 他社CADデータ連携インボート(金物工法用) 他社CADデータ連携インボート(在来工法用)	
, 	
〈戻るの 次へ迎う キャンセル	

「追加インポート情報の設定」画面で「分類名」が「木材樹種別強度」、「枝番」が「1」となっている行の「操作」欄において「置換」を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。

「コンクリート強度」を入れ替える際は「分類名」は「コンクリート強度」の行を選択してください。

7-6	分類コード	デー加ス分	枯番	分類名	基本	インポート	操作	N°5×5/
	AA110400	0	0	根太検討条件	4	4	2003	
	AA120100	0	0	外壁単位荷重	4		「晋堍」を指定	
	AA120100	0	1	外壁単位荷重	3	3		-
	AA120200	0	0	屋根単位荷重	4			_
	AA120200	0	1	屋根単位荷重	4	4		
	AA120400	0	0	部屋別床単位荷重	5	5		-
	AA12040P		-1	部屋別床単位荷重	8	8		
	AA12040	枝番が1	0	部屋仕様	28	28		
	AA12050		1	部屋別床積載荷重	2	2		
	AA120600		1	内壁単位荷重	1	1	1/	
	AA120700	0		特殊壁単位荷重	4	5	//	
	AA120800	0	N D	外部土間室単位荷重	3	3	/	
	AA140100	0	1	木材樹種別強度	122	122	置換	
	AA140300	0	U	梁•母屋梁町田	1	1)
	AA140400	0	0	基礎スラブ鉄筋仕様	12			
	AA140400	0	1	基礎スラブ鉄筋仕様	12	12		
	AA141110	0	0	梁端仕口情報	196	196		
	AA141120	0	0	母屋端仕口情報	82	82		
	AA141130	0	0	仕口断面名称	4	4		
	AA150100	0	1	鉄筋強度	1	3		
	AA150200	0	0	アンカーボルト強度	4			4.
	AA150200	0	1	アンカーボルト強度	4	4		
				54 mi				>

「追加インポート開始の確認」画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。

追加心木・ト間始の確認	X
追加インボート開始の準備ができました。 追加インボートを開始する場合には1定了Iボタンをクリックして下さい。 実行を取り止めたい場合には1年ャンセルボタンをクリックして下さい。	
対象ファイル:C:¥Program Files¥STRBASE V13¥Data¥STRDESIGNサンプルV13(3階・在来・布基礎).mld	
追加インボートファイル:C4ダウンロードしたファイル#面材仕様V13_告示1100号改正(20070620).csv	
インボート情報:(インボート情報を使用しない)	
\frown	